

林業安全コラム

https://www.kantei.go.jp/jp/pages/coronavirus_info.html
 首相官邸「新型コロナウイルスお役立ち情報」

○林業労働災害撲滅研修について（今後の指導の基礎となる、新しい指導方法を学ぶ）

（株）森林環境リアライズと（一社）林業技能教育研究所が実施している林野庁補助事業「林業労働災害撲滅研修」は、本年度は北海道、秋田県、岐阜県、鳥取県、宮崎県の全国5箇所で開催することとしています。うち秋田会場では前期・後期とも研修が終了したので、概要を報告します。本研修は、ベテラン作業員を対象に、チェーンソー操作技能を数値化して確認し、技能を高めるトレーニング方法を学び、今度は研修生が指導者となって、事業者や地域に広めていただくことを期待しております。トレーニングだけではなく、労働安全衛生に資する最新の装置・装備も体験いただくこととしております。

詳しくは森林環境リアライズのホームページをご覧ください。<https://www.f-realize.co.jp/kyaria/>

日程		プログラム	
前期	1日目	座学	林業労働災害発生状況ほか説明
		座学	心理学のプロによる「これからの働き方」を考える
		実習	仕事年表作成・共有ワークショップ
		実習	安全衛生装備等装着体験（林業労働災害VR体験シミュレータ）
	2日目	座学	操作技能のトレーニングと効果
		実技	チェーンソー操作技能のトレーニング
自己練習期間（一ヶ月）			
後期	1日目	実技	チェーンソー操作技能の自己練習成果の確認
		実習	チェーンソー操作技能の課題の解決方法の検討
	2日目	実習	現場での安全対策の発表
		座学	これからの練習プランの作成と共有ワークショップ

【プログラムについて】

- ・研修は前期、後期の計4日間の参加が原則です。
- ・経営者等にも前期の「安全衛生装備等装着体験」の参加を必須としています。（購入するのは作業員ではなく経営者等であり、購入の可否の判断のため体験していただきます。）
- また、研修成果が確認できるよう後期1日目実技を見学いただくよう呼びかけています。

・前期1日目の座学と後期研修は見学が可能です。開催地や近隣の都道府県職員の方には、全てのプログラムの見学も可能です。取組を見ていただき、まねていただいたり、翌年度自県での開催を希望されたり、などの動きを期待しています。

【前期2日目実技】

・受け口と追口の作業のあと、伐倒方向のズレと、受け口の深さや角度、ツルの高さ幅の計測を行います。（伐木技能の正確さを自分たちで評価しながら、反復練習を行います。）



計測している様子



伐倒方向のずれを、ボードと水系で計測

【後期1日目実技】

・1ヶ月間自己練習の成果を確認するため、ミニ伐木大会を実施し、狙った方向に倒せているかどうかを競い、伐倒後に、受け口の角度、深さ、方向などの計測を行い、1カ月間の練習成果を確認しあいました。



【後期2日目座学】

・今後の労働安全対策について話し合いを行いました。

最終日のワークショップの様相 →

興味のある方は是非研修にご参加下さい。北海道（前期9/29～30、後期10/29～30）、岐阜県（前期10/7～8、後期11/11～12）、鳥取県（前期10/22～23、後期11/26～27）、宮崎県（前期11/17～18、後期12/16～17）行政担当者の見学もお待ちしております。☎ 森林環境リアライズ 011-699-6830

- ・林退共制度は掛金の税法上や国や自治体等の補助などの優遇措置がありますので、林業現場で働く方々の加入促進へのご協力をお願いします。
- ・労働安全指導者による安全診断が費用負担なしに受診できますので、全国素材生産業協同組合連合会 林業労働安全推進対策事務局までお問い合わせ下さい。

林野庁
林業労働対策室
労働安全衛生班
 TEL:03-3502-1629